

## 第30回「20周年記念 ゴルフコンペ」

11月8日(水)、第30回「建球会」が「岡山ゴルフ倶楽部(帯江コース)」で開催されました。この大会は、OKCの20周年記念行事の一環でもあり、当日々35人の参加をいただき盛大に開催することが出来ました。

前日の悪天候とは打って変わって最高のコンディションの中、皆様プレーを楽しんでいただけたと思います。今後も、楽しい大会にするように幹事一同頑張りますので皆様のご協力をお願いいたします。尚、上位入賞者は下記の通りです。

建球会／高橋 英二



## 平成17年度納涼例会

今年の納涼例会は、20周年ということもあり、候補地を様々検討しましたが、「ケントス」じゃないと夏らしくないとの声があまりにも多い為、やはり、「ケントス」ということになりました。

男性72名、女性19名の計91名の多人数での会となり、長尾代表幹事挨拶から始まりまして、森本先生による乾杯の音頭より例会がスタート。

生演奏にあわせてのダンス、ダンス、ダンス!! 飛び入り参加の生演奏(私の知り合いということになっております)、委員会別の20周年記念クイズもあり会場はもうすでにヒートアップ状態。熱気がまだ冷めないうちに、あっという間に時間が過ぎ、閉会となってしまいました。

毎年の事ですが、「ケントス」じゃないと納涼例会じゃないとつくづく思いました。来年も参加するぞーー！！

それと納涼例会に参加頂いた方、準備に携わって頂いた方々、大変ありがとうございました。

親睦副委員長／光畠 栄二

## ビデオ作成「デジタル岡山グランプリ」

岡山建築設計クラブ20周年記念事業として、岡山県立図書館主催の映像コンテスト「デジタル岡山グランプリ」に応募しようということになり、親睦委員会の中から担当者を決めました。

このコンテストは、岡山の映像文化の向上と、岡山から全国への情報発信を目的としたもので、今回は、実写ビデオで、郷土岡山という要素がなんらかの形で作品に盛り込まれるというテーマ作品(1分~5分)に応募しました。製作担当は、副代表幹事の平松さん。親睦委員の高橋さん、竹沢さん、赤澤の4名です。8月に皆で話し合って、伝統的な町並みに関連した映像を撮ろうということで津山城東町並み保存地区を対象とすることが決まり、9月22日に下見に行きました。

伝統的な町家を利用したイタリア料理の店での食事や酒蔵訪問を楽しんできたのですが、具体的なテーマが決まらないまま11月が来てしまい、11月10日に撮影を決行しました。カメラマンは私の友人の大西さん。実は私、この地域には時々来ていまして、この伝統的な通りで現在多くの日常の商売や製造業が営まれていることに注目していました。到着するとすぐに、通り沿いの今では珍しくなった伝統的な打刃物専門製作販売の2軒の店へ。まず、忠兵衛鎌製作所の杉山昇さんに話を伺い、その様子をビデオに。杉山昇さんは手作業で刃金を叩いて鎌や包丁を作られています。その鉄製の包丁の美しさに魅力を感じて、私は思わず買ってしまいました。次に、本家忠兵衛鎌製作元に行き、奥さんの杉山サチコさんに話を伺いました。作業道具や家屋裏の火入れする窯まで見せていただきました。残念ながら、現在70代と80代のお二人には後継ぎはないとのこと。統いて、伝統的な町並みを撮影してきました。

編集作業も大西さんによっていたいのですが、長時間に渡る撮影を5分間にまとめるのは大変だったようです。出来上がったものは、インタビューシーンと町並みが交互に繋がれて独特的のアングルの映像美溢れる作品に仕上がりました。タイトルは「技ができるまちー津山出雲街道ー」。11月末の締切りに何とか間に合わせました。入賞するとよろしいのですが……?

親睦委員会／赤沢 輝彦



岡山建築設計クラブ

URL <http://www.optic.or.jp/okcc/>  
E-mail [okcc@optic.or.jp](mailto:okcc@optic.or.jp)

■発行人 代表幹事 長尾 悟  
■発 行 岡山建築設計クラブ  
■発行日 平成18年12月20日

■総務・広報委員会 委員長 那須 博巳  
■編集 委 員 森原 通仁  
宮脇 寿香

Okayama Kenchiku Sekkei Club

# FILE!

岡山建築設計クラブ

10月例会(テーマ例会)  
講演会テーマ「岡山の魅力ある風景の保存と創正」



OKCの10月例会では、テーマ委員会の主催で、10月18日に生涯学習センターにて講演会を催しました。講師は、馬場俊介氏（岡山大学大学院環境学研究科教授）で、先生は風景論を中心に幅広い活躍をされています。今回は、「おかやまの景観まちづくり講演会」2006.3.26改訂版を用いて、わかりやすく“美しい風格のある国土の形成”（景観法：H16.6）の説明から始まり、その基本理念の国民共通の資産の「宝物」（それは、川であり動植物、祭り、町並、伝統、ランドマーク、奥山、干拓、用水路、信仰etc）を再発見し、潤いのある豊かな生活現場の創造を実現すること、そしてまた個性的で活力ある地域社会の実現ということを解説された内容でした。

景観利益の考え方を学び、住民の共通した利益の考え方方は近年の建築に対するひとつの忠告であり、我々のランドスケープに対する考え方を広く建築として捉えることの意味の重大さを、講演の内容の中から感じまた更にソフト的なもの、伝統、信仰、商い等の国民資産としての宝物も、私達の日常の設計活動の中に大きく取り入れた考え方方がひとつの建築解となるのでは、と感じました。

具体的な岡山の事例を挙げての説明は、歴史的景観保存の出石地区の大正建築は、有名な割に喪失がひどく、大坂の法善寺横町の歴史的背景を重んじた街区の保存形態を見習い、岡山の路地の超法規的措置を望むことを初め、地域性のにぎわいの観点から、京橋の朝市、東中島の護岸、西中島の民家、岡山のランドスケープとして、全国的にめずらしい、いくつかの岡山にあるロータリーの特性、スカイラインの喪失という面からマンションの増加に対する措置、後楽園の景観保存とバリのフェゾー規制に学ぶ規制の解説、岡山の特性としての三大河川及び街に取り込まれた水路の歴史的価値や、その張り巡らされた多さ等々、多岐に渡る具体例と提案で考える道筋の整理をして頂きました。自分の住む町を多面的に知ることの大切さ、そして地域の人の手による計画を打ち立てることの大切さを説き、先生の講演は終わりました。建築を多面的に捉え、建築設計のいくつものダイアグラムを手にした講演会でした。

テーマ・交流副委員長／黒川 隆久

2006

12  
JULY

## INDEX

- 10月例会(テーマ例会)
- 講演会テーマ「岡山の魅力ある風景の保存と創正」
- ワンデーエクササイズ
- 20周年記念上映会
- 20周年記念 講演会
- 第30回「20周年記念ゴルフコンペ」
- 平成17年度納涼例会
- ビデオ作成「デジタル岡山グランプリ」